

①対応済の案件

年	月	質問要旨	答弁要旨	対応方針・進捗状況	所管課
2	9	<ul style="list-style-type: none"> <li>これから先も人類とウイルスとの戦いは続く、ハードの整備に公共手洗場兼噴水や休憩所を設置し街並みや衛生効果を高められる町とし、総合的な公衆衛生へとつなげ、その予防効果は住みやすさとなり経済効果へ続くものと考えられる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>財政的な課題もありますが、新庁舎西側のトイレ整備とあわせて、衛生面に気を付けて休憩所を兼ねて、公共手洗いの検討を行っていきたい。</li> </ul>	対応済 【土木部】 ・昭和園トイレ手洗い場につきましては、タッチレス（自動）水栓を設置しました。清正公道公園トイレ手洗い場につきましては、寒冷地仕様のためタッチレス水栓の設置ができませんでしたが、プッシュ式水栓（自動止水）を設置しています。 ・感染症対策として、できるだけ非接触を考えて設置を行いました。（対応済み） 【財政課】 ・新庁舎の開庁に合わせて西側トイレの改修工事を実施。便器などの改修工事と併せて公共手洗いを設置しました。（対応済）	都市計画課 財政課
2	12	<ul style="list-style-type: none"> <li>複数の手続きをワンストップで、書かずに行える「おくやみコーナー」の設置について</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>ご遺族のご負担をできる限り減らし、スムーズに事務手続きが終えるよう、新庁舎開庁に向け、システムの修正や機能追加、さらに「おくやみハンドブック」の見直し等を行いたい。</li> <li>新庁舎開庁に向け、「おくやみコーナー」の設置について他市町村を参考にしながらできる限り記入回数を減らして手続きが行えるよう、配置や手順内容について関係課と調整し、充実した内容にしていきたい。</li> <li>おくやみハンドブックについても、新庁舎開庁に伴い、配置図の掲載や他市町村のハンドブックを参考にしながら、円滑に手続きができるよう修正していきたい。</li> </ul>	対応済 ・住民課の窓口カウンターの一部をおくやみコーナーと位置づけ、来庁者が各課を移動せずに職員が出向いて対応しています。住民課、健康保険課、介護保険課、税務課、福祉課等と連携・協力し、来庁者の負担を軽減しながらスムーズな手続きができています。（対応済） ・おくやみハンドブックについても新庁舎移設に併せて見直し、修正を行いました。（対応済）	住民課
2	12	<ul style="list-style-type: none"> <li>病児保育施設の設定を</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>看護・保育ができる施設の充実に向け、今後も継続して事業者等との協議を進めながら、子育て中の保護者が安心して働ける環境整備を図っていきたい。</li> <li>町内の医療機関や事業者等とも協議をしながら環境整備を進めていきたい。</li> </ul>	対応済 ・既存施設において、令和3年9月から病児保育を始めました。	子育て支援課

3	3	<p>・いざという時に、多くの町民が自発性や主体性を発揮できるよう、①意欲のある個人または団体に事前に登録をいただくことで、災害時の支援活動を円滑に、効果的に行うことや、普段から災害ボランティア相互の連携協力を進めるためにも、災害ボランティア登録制度を創設するべきではないか。②ホームページやSNS等を活用し、募集の呼び掛け、被災地の状況、活動内容等を積極的に情報発信するべきではないか。③ボランティアバスを運行させるなどボランティア活動へのきめ細やかなサポート体制を構築するべきではないか。</p>	<p>ボランティアバスの運行による被災地への送迎支援につきまして、災害発生時に即時対応できるよう、事前に体制を整えていきます。また、その他のサポートについても、災害ボランティアを経験された皆様の声を聞きながら、新たなサポートについても検討をしていきたいと考えております。</p>	<p>対応済</p> <p>災害ボランティアバス運転委託料を6月補正し、ボランティアバスの運行が可能となりました。また、社会福祉協議会にて個人、団体の災害ボランティア登録を行っており、現在個人16名、8団体（約200名）が登録されています。引き続き災害ボランティアの登録を啓発するとともに、ボランティア情報の発信等を行います。大津町と社会福祉協議会は災害発生時に、災害ボランティアセンターの設置及びそれに伴うボランティア活動を円滑に実施するために、それぞれの果たすべき役割と協力事項等を定めた「大津町災害ボランティアセンターの設置・運営等に関する協定」を締結しました。この協定により、災害が発生した時などに、災害ボランティアの受け入れや配置などが円滑に行われるよう災害ボランティアセンターを設置・運営することとしています。</p>	福祉課
3	3	<p>(1)「子育て支援・教育環境日本一のまちづくり」の中でなにを先行して行うのか。今なお収束の兆しが見えないコロナ感染症によって、多くの子育て世帯は収入の減少等に直面しており、世帯収入の減少を踏まえた支援が必要と考えるが、町長の考えを聞きたい。</p>	<p>非課税世帯の給食費の無償化につきましては、現在、実施手法も含めてしっかりと検討しております。来年度前半には、早期には何かしらの対応を取りたいと思っております。</p>	<p>対応済</p> <p>既存の「(要保護・準要保護児童生徒)就学援助制度」を活用することで、非課税世帯の給食費の無償化と全く同様の効果が発生するため、町顧問弁護士とも相談し、該当世帯に直接案内を送付する方法を採用し対応しました。結果、該当世帯からの申請を受け付け、制度利用につなげています。</p>	学校教育課

3	3	<p>(1) 小中学生が通学するときの荷物の重さを懸念する声が数年出ている。2018年に文部科学省が全国の教育委員会などに向けて「児童生徒の携行品に係る配慮について」とした通知を出された。同時期、一般質問でも取り上げ、教育長からも前向きな回答をいただいたと認識していた。しかし2年経過した現在でも荷物の重さは変わらず重く、保護者からは子どもの健康面についての心配、子どもたちからはカバンの破損や頭痛などの訴えが聞かれている。</p> <p>①2018年の文科省からの通達以降の天津町の取り組み  ②現在の荷物の重さと保護者・児童生徒の声をどう受け止めるか  ③今後、考えられる取り組み  ④ICT化により荷物の重さは変わるのか</p>	<p>簡易ロッカーの設置などにつきましては、学校に置いて帰ってよいものを今回増やした場合に、また保管するロッカー等が不足するという課題も考えられるところです。今後は学校の状況を聴取しながらですね、移動式のロッカーなどの検討をしていきたいと考えております。</p>	<p>対応済</p> <p>○令和3年3月25日、各学校に通知文を発送。  ・「児童生徒の携行品に係る配慮」等について、学校運営の基本方針として学校運営協議会において「熟議」のうえ承認をもらうことを通知。  ○令和3年4月～5月 各学校において「学校運営協議会」を開催。  ・各学校での取組状況を説明し、学校運営協議会委員から承認をいただく。  ○令和3年5月27日、県教委から「児童生徒の携行品に係る配慮の実態調査」依頼  ・6月中に各学校の実態を把握し、7月校長会で取組実践例を共有した。  (携行品の総重量：小学校平均3,9kg、中学校平均8,4kg)  ○令和3年6月21日～7月2日、町教委による学校訪問を実施。  ・各学校の実態を直接視認し指導・助言を行うとともに、学校の要望を聴取。  ・聴取の結果、学校から移動式のロッカー等の設置の要望はありませんでした。</p>	<p>学校教育課</p>
---	---	---	---	--	--------------

②対応中、対応方針を決定した案件

2	6	<p>・行政手続きのオンライン化や、キャッシュレス決済は新型コロナウイルス感染抑制の取り組みとともに、町民の利便性向上、職員の業務負担軽減、コスト削減などの効果が期待できる。早急に民間サービス同様にオンラインやキャッシュレスで完結できる体制を構築する必要がある。</p>	<p>・キャッシュレス化につきましては、住民税や固定資産税、それから国民健康保険税等の公金の支払いについて、今年の4月からコンビニの納付に加え、さらにクレジットカード等を使って公金の支払いを行うシステムの導入について、現在協議を進めており、整次導入に向けて進めてまいります。</p>	<p>対応中</p> <p>・税金（住民税、固定資産税や国民健康保険税）のクレジットカード払いやスマホ決済について、令和3年度中のシステム導入に向けて進めています。</p> <p>・施設使用料や発行手数料のキャッシュレス化については、先進地視察（菊池市）を行い、QRコード決済の導入を検討中。</p> <p>・公共施設等のオンライン申請については、各課の現状把握やシステム開発企業や先進地の聞き取りなどを行い、生涯学習施設について7月から予約システムのモニターを行い検証中です。</p> <p>・その他のオンライン申請については、国が進める「ぴったりサービス」やその他企業が進めるオンライン申請サービスを調査・研究中です。</p>	総合政策課
2	12	<p>・申請書等の押印廃止について</p>	<p>・これから早急にロードマップを策定いたしますので、その中でできるものについては早急に取り組んでいきたい。</p>	<p>対応中</p> <p>・押印の見直しは以下の工程で実施します。 ①組織の意思統一、②組織体制の構築、③見直し基準の策定、④手続の実態把握、⑤見直しの検討（合理性や整合性の確認）、⑥押印の見直し（条例や規則等の改正）</p> <p>・現在は各課から提出された申請書等のリストと例規等との突合や内容確認を行っています。リストの整理が終わりましたら、庁内検討会で協議を行い、押印の見直しを実施し、今年度中の完了を予定しています。</p>	総務課
2	12	<p>・町の北、東、南エリアからの町中心部への往復に乗り合いタクシーが導入され、とくに高齢者の方などの大切な交通手段となっている。改善、充実が必要と思われる点について ①既存の乗り合いタクシーの便数を増やすこと。 ②セントラル病院への直接乗り入れの改善。 ③町中心市街地エリアでも乗り合いタクシーが必要。</p>	<p>①便数の増加につきましては、便数を増やした方がよいのか、あるいは現行の運行時間帯を変更する必要があるのか、まずは現在の利用状況を精査しながら、住民ニーズの把握にさらに努めてまいります。</p>	<p>対応中</p> <p>大津町地域公共交通会議において、地域公共交通計画策定業務委託を行うためにプロポーザル方式による業者選定を行いました。便数増加や、町中心市街地エリアへの導入についても、地域公共交通計画の策定と併せて利用状況を精査しながら検討を進めます。</p>	総合政策課

3	3	<p>(1) 町民との対話の中で日々の食事にも事欠くと言った話を聞いた。今、本町でも静かに貧困が広がっているのではないかと。SDGs 17の持続可能な開発目標に貧困をなくそうが一番初めにあり、本町でも、あらゆる次元での貧困撲滅のための計画や政策が必要ではないか。</p> <p>このことを踏まえ2点質問する。</p> <p>② コロナ禍の今だからこそ「フードバンク」や「フードドライブ」の設立が必要ではないか。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・町においても、食材を提供していただくフードドライブの取り組みや食材を確保し、必要な方へ配布するフードバンクの取り組みについて、ニーズ把握や課題整理を行いながら、社会福祉協議会などとも連携して実施していきたいと考えております。</li> <li>・町でフードバンクをつくるためには、食材の募集、保管場所、提供方法、管理職員などの課題がございますが、社会福祉協議会などとも連携しながら、それらの課題を整理し、実施に向けて取り組んでまいります。</li> </ul>	対応中	<ul style="list-style-type: none"> <li>・社会福祉協議会、郵便局、町関係部署にて協議中です。周知方法や各機関の役割、仕組みづくりなど今後の方針も含めて検討しており、今年度は年末実施を目指しています。</li> </ul>	福祉課
3	3	<p>(1) 個別施設計画(案)が示された。公共施設、中でも急務である学校施設の改修整備については議会からも強く要請している。また熊本地震以降、新たな公共施設が増加しており、旧来の施設の活用についても十分とは言えない。個別施設計画(案)にはまだ検討すべき点があるのではないか。</p> <p>① 施設の在り方そのものを検討すべきもの</p> <p>ア 学校(校区)、幼稚園</p> <p>イ 計画どおりの活用がなされていない施設</p>	<p>校区見直しは、行政が一方向的に進めるものではなく、関係者の理解と協力を得て進める必要がございます。将来の学校に関する意向調査などに今後取り組んでいきたいと考えております。</p>	対応中	<p>将来人口推計の実施にあたり、現校区とは違ったパターンでの推計を実施しているところです。</p>	学校教育課

3	3	(2) 水害対応 台風災害予防は待ったなしで具体化を。	今後の梅雨あるいは台風に備えて、今の空き家をどうするかというのは当然考えていかなければなりませんので、先ほどお示しいただきました、国の補助金制度等も含めた中で、町としてどういった支援ができるかということをお早急と考えていきたいと思っております。	対応中	空き家のなかで、災害の心配がある空き家については、基本的に所有者が維持管理を行うことが前提となります。現在も、近隣住民から心配される空き家の問い合わせがあったとき、所有者に対して対応のお願いを行っているところです。また、適切な管理を促進するため、空き家所有者への空き家バンクの周知や、空き家の除却等への支援に向け、空家等対策計画の策定を進めています。	総合政策課 防災交通課
---	---	-----------------------------	--	-----	---	----------------

### ③検討中の案件

年	月	質問要旨	答弁要旨	対応方針・進捗状況	所管課	
28	12	・消防団活動の支援の輪を広げる機能別消防団員を設置し、消防団活動を更に強化しないか。	・機能別消防団については、町消防団幹部会議において、議論を始められたところです。今後、すでに機能別消防団を設置している自治体の状況や町消防団幹部会議での検討結果を踏まえながら進めてまいります。	検討中	今年度、町消防団の幹部も変わりましたが、継続して町消防団幹部会議において、機能別消防団員について検討を続けます。消防団員が減少する中で、地域防災力の低下や指揮命令系統の乱れにつながらないように、慎重に協議を行います。	防災交通課
2	12	・マンホールトイレの整備状況について	・マンホールトイレの整備につきましては、今後の状況を検証し、施設整備とあわせて考えてまいります。 ・状況に応じまして下水道に連結したマンホールトイレ等の整備についても今後検討してまいります。	対応不可	・マンホールトイレの利用に関しては、中央公園にマンホールトイレを設置しておりますが、熊本地震の大規模災害時においても、立地上の課題もあると思っておりますが、利用が少なかった状況です。そのため、現時点でマンホールトイレを設置する計画はありません。現在、災害時のトイレ設備に関しては、上水道断水が無ければ避難所に設置される水洗トイレを優先して利用することになりますが、上水道断水の地域がある場合、備蓄する簡易トイレにより対応する計画です。 ・しかしながら、今後、マンホールトイレの効果的活用や必要性が更に確認できれば、避難所施設整備と併せて再検討します。	防災交通課